

就 農 計 画 (記 入 例)

住 所 ○○○○○○○○○○○○○○
氏 名 ○○ ○○
生年月日 (年齢)

1 農業経営又は農業従事の態様に関する目標

(1) 将来の農業経営の構想

※ 将来の農業経営の構想について、なぜその構想に至ったか (なぜ就農するのか) まで含め、なるべく詳しく記入

概ね5年後の目標とする

市町村まで決まってい
ない場合には地域名まで記入

(2) 就農時における目標 (平成○○年時の目標)

営農部門	就農予定地	就農時期	年 月
就農・経営形態	自営による個人経営 ※ [例] ・親とは別の部門経営 ・農業生産法人の雇用者として○年勤務したあと自営による経営を開始		
経営規模	○○h a ※後継者は就農時の数値を記入し、それ以外に () 内に将来の目標数値を記入 [例] ○○h a (○○h a)		
作 目	ブドウ ○○h a ※作物別に記入 (単位は適宜変更して記入) ※後継者は就農時の数値を記入し、それ以外に () 内に将来の目標数値を記入 [例] ○○h a (○○h a)		
所得目標 ※農業所得を記入 ※就農促進方針の就農時 農業経営目標の年間農 業所得概ね200万円	○○万円/年 ※後継者は就農時の数値を記入し、それ以外に () 内に将来の目標数値を記入 [例] ○○万円/年 (○○万円/年)		
農業労働力 ※臨時雇用についても記 入	氏 名	年齢、続柄	年間農業従事日数
	○○ ○○	○歳、本人	○○○日 ()
	○○ ○○	○歳、妻	○○○日 () ※後継者は就農時の数値を記入し、それ以外に () 内に将来の目標数値を記入 ※就農促進方針の就農時農業経営目標の年間総労働時 間2000時間

※ 新規参入者の場合には、将来目指す経営目標を記入し、農業後継者の場合には、就農時の経営とカッコ書きで将来目指す経営目標を記入する。

2 1の目標を達成するために必要な農業の技術又は経営方法を実地に習得するための研修その他の就農準備に関する事項

(1) 過去の農業教育・研修経験

学校教育 ・施設研修	学校・研修先の名称	所在地	教育・研修期間
※農大などの研修施設 での研修について記 入	○○○○学校	○○町	○○年○月～○○年○月
	教育・研修内容 [例] 果樹の栽培知識及び技術習得		

農家等実務研修 ※先進農家、農業法人等 での実践的な研修に ついて記入	研修先の名称	所在地	教育・研修期間
	〇〇 〇〇	〇〇町	〇〇年〇月～〇〇年〇月
	研修内容		

(2) 県農業大学校における研修教育計画 ※農大などの研修施設での研修について記入

名 称	〇〇〇〇学校	所在地	〇〇町
専 攻	果 樹	研修教育期間	〇〇年〇月～〇〇年〇月
研修教育 内 容	[例] 果樹の栽培知識及び技術習得		

(3) 農家等における実務研修計画 ※先進農家、農業法人等での実践的な研修について記入

研修先名称	〇〇 〇〇	所在地	〇〇町
営 農 部 門	果 樹	研 修 期 間	〇〇年〇月～〇〇年〇月
研 修 内 容	[例] ブドウの栽培知識及び技術習得		

(4) 改良普及員等による指導研修計画

※指導研修は、制度上青年（40歳未満）が対象であるが、指導研修を受けない方であってもこの欄を利用し、農務事務所の指導のもと、どのような技術を身に付けるか記入。

研修農家名	住 所	
	研修ほ場等の所在地	
研修作物	研修ほ場等面積	
研修期間		
研修内容		
指導機関等の 名 称		
指導研修後 の 計 画		

(注) 普及員等の助言を受けて作成した研修カリキュラムを添付する。

(5) 就農準備計画

※就農に向けての準備の計画を記入。（研修計画については(1)～(4)の欄に記入。経営開始に伴う事業計画については3の欄に記入）

年 月	就農準備の方法	内 容
平成〇〇年〇月 平成〇〇年〇月 平成〇〇年〇月	就農先調査 資格取得 就農地への転居	住居、農地の調査 大型自動車免許の取得、簿記検定

3 1の目標を達成するために必要な施設の設置、機械の購入その他の就農時においてとるべき措置に関する事項

(1) 経営開始のための事業計画

事業内容	規模・構造等	実施時期	事業費	資金名等
農地の貸借	50 a	平成〇〇年〇月		
機械の購入	S S、500リットル	平成〇〇年〇月	2,300千円	就農支援資金
ハウスの建設	20 a、パイプハウス	平成〇〇年〇月	5,000千円	就農支援資金

(2) 資金調達計画

区分	資金名	借入時期	借入額	借入条件
就農研修	就農支援資金(研修)	平成〇〇年〇月	1,800千円	5年据え置き20年償還
就農準備	就農支援資金(準備)	平成〇〇年〇月	2,000千円	5年据え置き20年償還
経営開始	就農支援資金(施設)	平成〇〇年〇月	7,300千円	5年据え置き20年償還

※ 資金名(就農支援資金・農業改良資金・近代化資金等)

4 方針第6の(1)の①のイに掲げる者が有する知識及び技能に関する事項
(青年以外の者のみ記入)

(1) 経歴

	経歴 1	経歴 2
職務内容		
在職期間		
勤務機関名		
上記の住所		
退職予定年月日		
資格等		

(2) 知識及び技能の内容

※(1)の経歴に掲げた職務内容で得た、技術と知識の中で農業経営に活用できるものについて、その内容を具体的に記入

5 その他就農関連事項

(1) 研修を兼ねた農業関連事業等従事計画

(青年が研修終了後引き続き農業関連事業等に従事する場合に記入)

青年の場合、農業大学校等での研修終了後、3年間に限り農業関連試験研究機関や農業関連産業（JAなど）に研修を兼ねて従事することが認められているため、その関連事業への従事内容について記入する欄。
研修終了後すぐに就農する就農計画で、就農研修資金、就農準備資金を借りた者で、研修終了後一時的にこれら関連産業に勤めることになった場合は、必ずこの欄を記入した就農計画に変更することが必要。

従事予定の農業関連事業等	
農業関連事業等従事で習得しようとする技術等	
農業関連事業等従事の期間	

(2) その他

※新規参入就農者のばあいなどは、住居、農地の確保の方法について記入。